

個人思考



グループ共有



事後協議



◎成果・良かった点 △課題・改善点

○生徒が主体的に学べる仕掛けがあったか。

- ◎・生徒は、2枚の自動販売機の写真を比較し、主体的に活動に取り組んでいた
→身近な題材、効果的なワークシート
- ・比較する際に、言葉だけでなく写真に○をつけさせる手立てが良かった。
- ・高齢者、こども、障がい者、環境など様々な視点で違いに気付くことができていた。

△・グループ活動の延長時間での工夫

→他グループの意見を見してみる・中間共有をして、考える視点を持たせる など

○課題を追求する段階で、教師のファシリテートはどうだったか。

- ◎・前時のバリアフリーやユニバーサルデザインの学びが関連づけられていた。
- ・1つの班から出た気づきを、他班の考えと結びつけて全体へ広げられていた。
- △・概念の問いが生徒に落ちていたかどうか。
→生徒の気づきを、一般化（抽象化）して広がりを持たせる。
→板書にするなど、視覚化させると良かった。

○交流場面において、生徒が多様な意見を認めることができるような工夫があったか。

- ◎・なかまの意見は色ペンで書くという指示が良かった。
- △・自動販売機で変化した1つの機能に対して、多様な見方ができることに気付かせると良かった。
(例) コインが複数枚入れられる投入口→一気に入れられて便利、手が不自由な人への配慮

○生徒が自分の言葉で学びを振り返ることができていたか。

- ・今回は時間が取れなかったなので、次回の導入時に復習として確認する。
→探究テーマについて再確認した上で、本時の内容に入る。

○その他 (生徒の姿からの気づき等)

- ・家庭科とのつながり →どちらも、生活を豊かにするという共通点がある。
基礎的な技術だけでなく、IBでは創意工夫や多様な視点が必要。
それが、「デザイン」としてのIBになるのでは？